

先月号でクリーブパーマについて紹介しましたが「クリーブ」という原理はストレートパーマにも応用することができるのです。湿気の多い梅雨時期ということで「うねる」「広がる」「まとまらない」などのお悩みの方も多いようです。

クリーブとストレートパーマ、さらに薬剤や工程を一工夫することで、従来のストレートの効果をアップしたり、ナチュラルなストレートスタイル、さらにカールスタイルへの対応も可能になります。

くせ毛の種類とストレートパーマの種類

くせ毛には種類があり、それぞれストレートパーマとの相性があります。

シスチン結合の影響が強いくせ	髪が濡れている状態で現れ、乾くと弱まる	薬剤による対応が有効
水素結合の影響が強いくせ	乾いた状態で現れ、髪が濡れると弱くなる	熱(ブロー・アイロン)処理が有効
波状毛	波状に大きなウェーブがでるくせ	水素結合の影響が強い
捻転毛	うねりがスパイラル状に現れるくせ	シスチン結合の影響が強い
縮毛	ランダムに縮れたくせ	水素結合の影響が強い

ストレートパーマ (くせ毛との相性と伸ばし具合、ダメージの状態、仕上がりのスタイル等によってストレートの工程が変わります)

